

☆まもなく通信200号！

今月で、通信も199号を迎えました。来月の200号から、紙面を皆さんの意見を参考にしながらリニューアルしていききたいと思います。通信についてのご意見やご要望を事務局までお聞かせください♪



カマキリの卵作り??

☆第2土曜日・観察会

10月観察会担当は、吉岡です。今月のテーマは「カマキリ」。カマキリと聞いて、みなさんはどんなイメージを思い浮かべますか？参加者のみなさんからは、「ハンター・カマを持っている・たまご・三角の顔・ハリガネムシ・体が細い…」などの意見があがりました。どれもカマキリの特徴を言い表しているものばかりで、多くの人にとってカマキリは身近なものだということがわかります。

特徴と言えば、カマキリは「卵の形」が印象的です。交尾を終えたメスは、卵を産みながら、白い液体も一緒に分泌します。おしりの先でその液体をかきまぜて、卵を守る泡を作っているのです。ということで、今回の観察会のメインは「カマキリの卵モドキ作り」に決定！まずは手をキレイにし、手洗い用石けんを泡立てていきます。参加者のみなさんの多くは、石けんを泡立てるなんて初めてのことで、悪戦苦闘。泡立てるポイントは、適度な水と空気です。手をお椀のように丸めてもう片方の手でかきまぜます。コツをつかむ人、やればやるほど泡が消えていく人など、みんな楽しく取り組んでくれました。この泡立てをカマキリのメスはおしりでやっているなんてスゴイですね！では、なぜカマキリの卵は泡につつまれているのでしょうか？それ

は卵のままで長い冬を越すためです。表面は硬いですが空気がたくさん含まれたこの泡は「卵のう」と呼ばれ、暑さ・寒さ・乾燥・湿気を防ぎ、また外からの衝撃も吸収して中の卵を守っているのです。ひとつの卵のうの中には、300個もの卵が入っており、来年の春を待ちます。その300匹の中で立派なカマキリになれるのは、ほんの数匹です。強いと言われるカマキリも、自然の中で生き残るのは厳しいんですね。その後、くさはら広場にみんなで行って、カマキリや卵を探しに行ったのですが、あまり見つけられませんでした。「ケバエ」という虫の幼虫の大群を見つけみんな驚いて、観察会は終わりました。



笑顔もホクホク

☆第2土曜日・作業内容

1. **クズ・セイタカ退治** くさはら広場を中心に花が咲きだしたセイタカアワダチソウ、まだまだしつこいクズを退治しました。
2. **ササの機械刈り** 森の中でもドングリ拾いがしやすいように、屋外トイレ付近のササを刈りました。とってもスッキリし、森の中に入っていくやすくなりました。
3. **カナダモ退治** センター付近の水辺のカナダモを取り除きました。
4. **昼食づくり** サツマイモをたっぷり使ったごはんでした。差し入れもいただき、朝採りの枝豆やそうめんカボチャ、とうがらしなども使って、今回もヘルシーでおいしい料理をお腹いっぱいいただきました。たくさんの差し入れ、ありがとうございました。

前スタッフが、知り合いを連れてきてくれたり、先月市役所の研修で来てくれた人がまた来てくれたり、同じ滋賀で活動しているやまんばの会の方が来てくれたりと、にぎやかな活動日となりました。

お昼からは、引き続きササの機械刈りと、お芋掘りを行いました。

11月8日(第2土曜日)、26日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)

遊林会の作業会議は 11月26日(水)

主催者：遊林会

連絡先(遊林会事務局)：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

☆第4水曜日の作業

作業は物置の組み立てです。森の保全で使う道具を入れる場所が足りていなかったためです。ただし、場所も整地してない場所のため、地ならしから。道路工事でも使うプレートという土を固める機械（もらいもの）で地ならしした後、説明書を読みながらの作業となりました。「昔の物置と違って、なんや細かい部品が増えとるな〜」「これはどっち向きに張るのや！」という声が飛び交う中、無事に設置は終了。しかし、設置してから気づいたのは、雨どいがいないこと。これでは落ち葉が積もってしまうということで、急遽、屋根を張ることに。昨年まで使っていたものを上手に使い、新しく購入する物は何もなく、全てあるもので作ってしまいました。さすが。

☆10月の木ままクラブ

10/16 10人 機械刈り班と、竹置き場の屋根張り班に分かれての活動でした。午後からも作業は続き、交流広場のかなり奥のほうまで草をかってもらいました。また、屋根もとても良いのができました。

10/30 10人 去年新たに作った、モミジの観察路の整備です。モミジはちょっと茂ってしまうと、すぐに下枝が枯れてしまうので、危なくないように下枝の処理と、柴作りが主な活動でした。昼からは、機械刈りと、屋根の整備をして終わりました。

11月の活動は13日・20日（木）です。

☆遊林会、NPO法人として成立！

5月に理事や監事の皆様方にお集まりいただき、遊林会の法人設立に向けて設立総会を開きました。それをうけ、事務局で調整し、滋賀県に提出、認証の決定、そして法務局での法人登記を完了し、遊林会は新たに特定非営利活動法人として発足しました！ 正式名称は、「特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会」となりました。これで任意団体から、NPO 法人として成立したことになります。

また、法人としての活動は来年度、4月から本格的に始動することになります。法人化したとはいえ、これまでの遊林会と大きく変わることはありません。しかし、この法人化をきっかけに、改

めて遊林会の良さを再確認できました。この良さをベースに、様々な事に新しくチャレンジし、発展していきたいと思えます。

これまでと変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

☆モリイコ！の子どもたち

モリイコ！6回目は秋の虫つかみと、たき火のプログラムです。春や夏と今のいきもの達はどう違うのか、などを体験します。最初は虫に触れなかった子どもたちも、慣れたもので、ちょっと怖いカマキリにもチャレンジしています。しかし、たき火はみんな初めてです。生まれて初めてマッチをすった子どもの顔つきは子どもながらに真剣そのもの。また、たき火は多くの行程があり、チームで協力しないと点けることができません。4、5歳児の子ども達は飽きる子どももでてきて、年上のお兄ちゃんやお姉ちゃんに「手伝って！」と言われていきます。社会性を身につけるのに、なかなか最適なたき火です。

ベテランのモリイコ！Sはまず「カマキリ博士」を目指します。森中のカマキリを捕まえ、観察し、色を塗り、森オリジナルの図鑑を完成させます。探検途中には、フクロウに出会えた隊もあったようです！

そして、午後からは「目がよく（49）なるビンゴ」という、49マスのビンゴに挑戦です。通常、学校では9マスのものが多いのですが、その5倍もの数です。子どもたちだけで行きましたが、賑やかに楽しめたようです。

☆冬のコンサート決定！！

毎年様々な趣向を凝らして開催するクリスマスコンサートですが、今年は女性、ではなく、女声アンサンブル「ソアーヴェ」5人組によるコンサートです。楽器はフルートとピアノ。クラシックからポピュラーな曲まで幅広く演奏していただきますので、楽しい時間が過ごせると思います。日時は、12月14日（日）17:30 です。

☆11月の作業は…

竹の伐採に適したシーズンになりました。来年度に使用する竹工作用に竹を伐ります。お昼は、あったかシチューを予定しています。